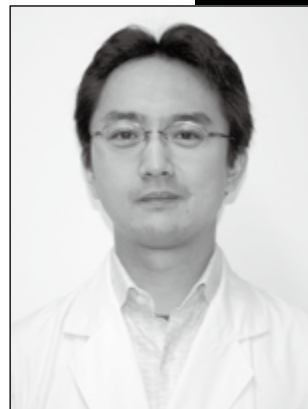


「肺気腫は怖い?」



肺気腫という病名を知っていますか?名前から肺の病気ということとは分かると思いますが、あまり聞きなれない病気ではないでしょうか。しかし、肺気腫はここ10年ほどの間に患者数や死亡者数が増加傾向にあり、特に高齢者の割合が増加しています。



西城市民病院 内科医長

塩見 桂史

肺気腫の治療

残念ながら壊れた肺胞を元に戻す治療法は今のところありません。自覚症状の改善、進行の抑制、増悪の予防、予後の改善などが治療の目標になります。

喫煙中の人はまず禁煙することが一番です。現在は禁煙を補助するさまざまな薬がありますが、本人の強い意思も重要だと思います(私も大量に喫煙していましたが、数年前から禁煙しています)。薬物療法は吸入薬、内服薬、貼付薬があり、一定基準値以下の低酸素血症があれば酸素療法も適応となります。

最後に

肺気腫は進行して発見されることが多いため、気になる方は早めの受診をお勧めします。また、発症すると治療が困難なケースも多いため、予防が一番重要です。喫煙は肺気腫だけでなく、肺癌、喉頭癌、胃癌、虚血性心疾患、脳血管障害など、さまざまな疾患との関連が指摘されています。今まで禁煙に失敗した方も禁煙の相談に一度受診されてはいかがでしょうか。

肺気腫とは

肺気腫は慢性閉塞性肺疾患の一つで、気管支の先にある肺胞が壊れる病気です。肺胞は気管支の先端に無数にあり、体に必要な酸素を取り入れ、不要な二酸化炭素を排出するときに重要な役目を果たしています。肺胞が壊れると、息を吸ったり吐いたりする機能の効率が悪化し、体に必要な酸素を取り入れることが非常に困難になります。また、一度壊れた肺胞は元には戻りません。

肺気腫の原因

肺気腫の危険因子には喫煙、大気汚染、呼吸器感染症などがありますが、最大の危険因子は喫煙です。一度壊れた肺胞は元には戻らないので、過去に喫煙していた人

も発症します。これまでは喫煙者の多くが男性だったこともあり、

肺気腫は男性に多くみられる病気でしたが、同じ条件であれば女性の方が発症しやすいといわれています。現在、女性の喫煙率が高くなっているのも、もっと知ってもらう必要があると思います。

肺気腫の症状

早期の肺気腫では症状がみられないことが多いのですが、慢性の咳や痰が呼吸困難に先行してみられることがあります。進行すると労作時の呼吸困難を自覚するようになり、日常生活に支障をきたすようになります。症状はゆっくりと進行することが多く、肺気腫の症状であっても、本人は年齢や風邪のせいだろうと考えているケースが多く見受けられます。

肺気腫の診断

肺気腫と似たような症状がみられる疾患は多く存在するため、肺気腫と他の疾患とを見分ける必要があります。そのため、X線画像検査、呼吸機能検査のほか、心電図、血液検査なども行うことがあります。また、検診で行う胸部単純X線写真では早期の肺気腫の診断は困難ですが、胸部CTでは早期の診断が可能です。